建築家通信

2016.10.31
vol.111

公益社団法人日本建築家協会　関東甲信越支部 長野地域会
JIA長野県クラブ
http://www.jia-nagano.com
E-mail info@jia-nagano.com

目標を高くかかげて

㈱降幡建築設計事務所所長 降幡　廣信

ホテル安曇野河昌 玄関ホール

草間邸再生前屋根

草間邸再生後応接室

人は誰にも、自分の人生に大きな影響を受ける時があるものです。私にとってのその時は、今から20年前でした。

それは、当時の明治村博物館館長、村松貞次郎先生（東京大学名誉教授）の長野市における講演の後の懇親会の席でした。向かいの席の村松先生との話が弾む中、「私は今年68才になって、定年をだいぶ超過してしまいましたので、2年後の70歳を契機に現役を退くことにしたいと思います。」と申し上げ、先生のお顔を伺った。

すると先生は、「降幡さん、それは勘違いです。村野藤吾先生は、93才まで仕事をしましたが、作品の中間点が70才です。70歳までの作品の数と、71才から93歳までの作品の数が同じです。あなたはまだ、村野先生の中間点までも行かないのに、そんな弱気では困ります。降幡さんは民家再生の道を切り開いたのだから、村野先生より1年でも長生きして、民家再生を見守ってください。その務めがあると思います。」とおっしゃったのです。

その時私は、村野先生の偉大さに頭を深く垂れたのだが、私がうなずいたように見えた村松先生は、ご自分の言葉を私が「承知した」と勘違いして受け止めたらしい。そのことを後に知った私は、村野先生より1年先の94才まで現役でいることを村松先生とのお約束として、それを目標として今日に至っています。

94才を目標としていることが、今も元気に現役を務めていることに繋がっていると思います。多くの方々から、87才には見えませんねと褒められるのも、高い所に目標があるからだと思います。

そこで、これを読まれる皆さんに、「人生に高い目標を持ってください。目標がそのまま叶えられなかったとしても、目標に近づけます」と申し上げたい。

ここに紹介する草間家は、再生工事の当時、280年前の元禄時代に造られ、100年後の文政11年に「本棟造」に増築された民家です。それ以降、全く手入れがされずに住み続けられていました。私が初めて訪問した時、廃屋に等しきものに変わり果てていたのです。

不思議なご縁で再生するに至り、再生工事に関係させて頂きました。昭和57年（1982年）のことでした。

日本初の「民家再生」となり、大きな反響がありました。

それから34年経ちましたが、家もそこでの生活も健康そのものです。

湯田中街並み整備プロジェクトについて

広瀬　毅

「湯田中街並み整備プロジェクト」は㈱地域経済活性化支援機構（REVIC）と長野県の地方銀行による「ALL信州観光活性化ファンド」を活用した第1号として、山ノ内町の湯田中地域を対象に立ち上げられたプロジェクトです。長野県クラブはJIAとREVICとの連携協定にもとづき、昨年8月からそのハード整備に協力してきました。

湯田中温泉の「かえで通り」に面する使われなくなった建物をリノベーションし、街のにぎわいを取り戻すことを目指し、このプロジェクトの中心的な機能を担う「WAKUWAKUやまのうち㈱」の直営である、カフェ＆バー「HAKKO（旧関英青果店）」、カフェ＆インフォメーション「CHAMISE（旧東京堂）」が完成、営業開始して、それぞれ計画を上回る売り上げを上げています。また同じく直営のゲストハウス（旧まるぶん）も間も無く営業開始の予定です。

私はこのうち「CHAMISE」の設計を担当させていただきました。長野県クラブ内有志のワーキンググループによるデザインレビューも実施し、将来的な街並み整備を見据えたデザインを提案させていただきました。この建物は「WAKUWAKUやまのうち」の本社機能も併せ持ち、コスト的にも厳しいものでしたが、一階部分をセットバックさせ、通りに開かれた店舗となり、一定の成果を出せたのではないかと思います。

このプロジェクトにJIA長野県クラブとしてどう関わっていけるかは、未だ不透明な部分もありますが、単体の建物だけではなく、こうした街並み整備に長期的に関わることは、今後も重要な課題となって行くと考えています。

湯田中街並み整備プロジェクトに携わって～わしの湯～

下﨑　明久

湯田中温泉の老舗温泉旅館「わしの湯」は、明治31年創建の一部木造3階建て、延べ床面積約1,000㎡の、趣のある古き佳き和風旅館の様相を漂わせていました。

「わしの湯→ZEN Hostel」外観

5年前に旅館業を廃止し、前所有者により住居として使用されていたこの建物は、㈱地域経済活性化支援機構（REVIC）が推し進める「湯田中街並み整備プロジェクト」の一対象物件として、新たな事業者（㈱ZEN）の運営による、主にインバウンド向けのゲストハウス「ZEN Hostel」として再生することとなりました。このリノベーション計画に際してJIA長野県クラブに設計監理者の推薦依頼があり、湯田中活性化ワーキンググループの一員である私のほうで設計監理を引き受けることとなりました。

昨年末に設計に着手したものの、信頼できる既存図面等がほとんどない状態からのスタートでした。電気・給排水・ガス・消防設備等を含めた既存建物の状態を把握するための、数回に渡る現況調査と既存図面起こしから始め、事業者の要望、工事予算、消防法・旅館業法等の法規制との合致、そして明治期に建てられた木造3階建てという希少性を尊重しながらの構造補強等、様々な要素が絡み合う計画となりました。一時は途方に暮れる場面もありながら、なんとか5月に実施設計完了、工事契約～着工へと歩を進めることができました。着工後は、改修工事にはつきものの「想定外」にも見舞われ、度重なる設計変更も余儀なくされつつ、しかし事業者や施工サイドの尽力に支えられながら、8月に無事完成となりました。

今回の事業にJIAの一員として携わることができ、（様々な困難に直面したことも含めて…）貴重な経験を積むことができました。この「ZEN Hostel」を含め、整備プロジェクトにより再生された建築群が、湯田中活性化への起爆剤になることはもちろん、地域の皆様に永く愛される存在となることを願ってやみません。

http://zenhostel.net

改修工事前のホール

改修工事後のホール

祝 受賞・表彰

日事連建築賞

優秀賞

山の子保育園

野口 大介／野口大介建築設計室
藤松 幹雄／藤松建築設計室
荒井　洋／HAL設計室

山の子保育園

JIA支部大会 地域に根差す建築作品・活動 カタログ2016

建築作品部門 大会特別賞

根羽村高齢者福祉施設ねばねの里「なごみ」
松下 重雄／㈲みすゞ設計

環境委員賞

南駒が岳を望む家
新井　優／新井建築工房+設計同人NEXT

南駒が岳を望む家

“信州の木”建築賞

最優秀賞 **根羽村高齢者福祉施設ねばねの里「なごみ」** 松下 重雄／㈲みすゞ設計

優秀賞 **軽井沢発地市庭** 宮本 仁夫／㈱宮本忠長建築設計事務所

根羽村高齢者福祉施設ねばねの里「なごみ」

軽井沢発地市庭

開催したイベント

8月6日（土）…信州“準寒冷地温熱教室2016”第3回
9月3日（土）…信州“準寒冷地温熱教室2016”第4回
10月1日（土）…信州“準寒冷地温熱教室2016”第5回
10月27日（木）～29日（土）… JIA建築家大会2016大阪

今後の行事予定

11月5日（土）… 信州“準寒冷地温熱教室2016”第6回
12月17日（土）～18日（日）…冬のセミナー（岐阜県建築・まちあるきツアー）

編集後記

学生さんから古参の方まで建築に関わる様々な方たちに、興味をもって読んで頂けるように、何かを伝えられるようにと、微力ながら企画を組んでいきます。今回は民家再生という言葉を産みだされた建築家の降幡廣信氏に寄稿していただきました。日本の心、気候風土、また品というものについて教えて頂きました。湯田中の活性化事業、今の時代には大変な仕事です。守るべきもの、守り方について考えてゆきたいです。

申し遅れましたが前号の会報から諸事情により、配布部数を各会員に1部ずつとさせていただいております。何卒ご了解の程をお願いいたします。……百瀬万里子

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。

JIA 公益社団法人日本建築家協会 The Japan Institute of Architects

編集人／百瀬　万里子　　発行人／山口　康憲
発行所／JIA長野県クラブ
長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内
TEL：026-232-3897　FAX：026-232-5303
http://www.jia-nagano.com
E-mail　info@jia-nagano.com